

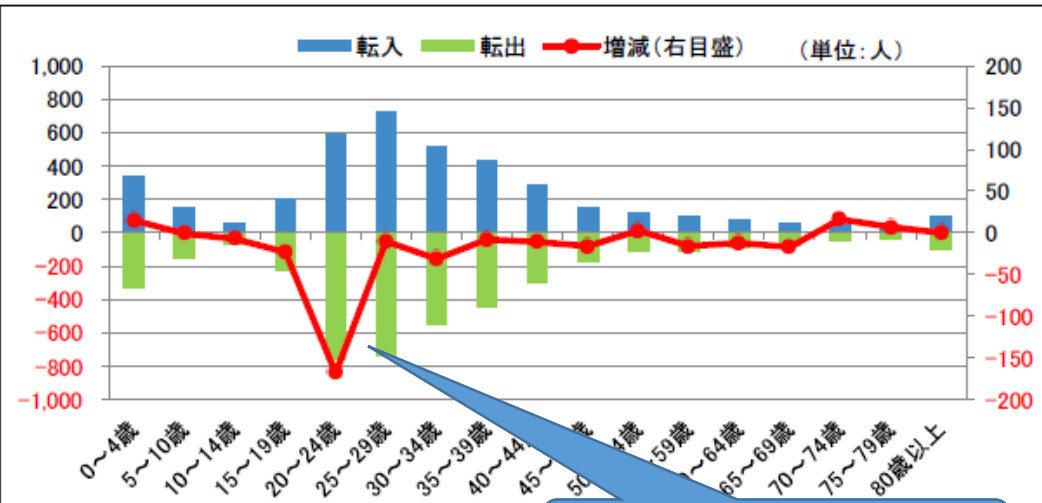
高校生フリーペーパープロジェクト

☆なぜ高校生が地域活性化？

- ・伊豆地域の人口減少
進学・就職で故郷を離れることが要因として大きい。
- ・伊豆地域への観光交流客数の減少

地域の魅力取材し
発信する
フリーペーパー作成！

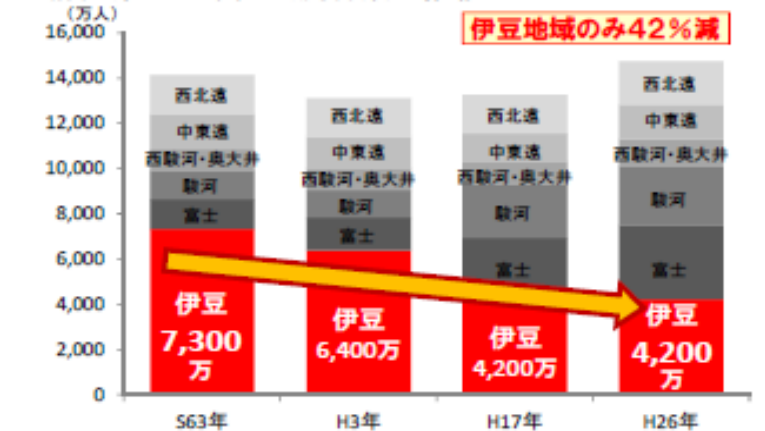
- 高校生の郷土愛醸成によるUターンの促進
- 新たな目線での情報発信による観光進行



三島市 (資料：『2014年 住民基』)

若い世代が大きく流出

■ 静岡県内の観光交流客数の推移



出典：平成26年度静岡県観光交流の動向

事業の流れ

1) 社会人の募集(大人と交わる組織づくり) 5月～7月

社会人とチームを組み、プロジェクトを通じて大人と接点を持つ。地域にも「活躍している」人がいることを実感。

2) 高校生の募集 5月～7月

沿線の3校がプロジェクトに参加(新聞部、生徒会)

3) 地域の魅力ワークショップの開催 8月

地域で活躍する大人を紹介。学生時代に何を考え、今何を仕事としているか。生の声を伝える。

4) 取材・編集 8月～

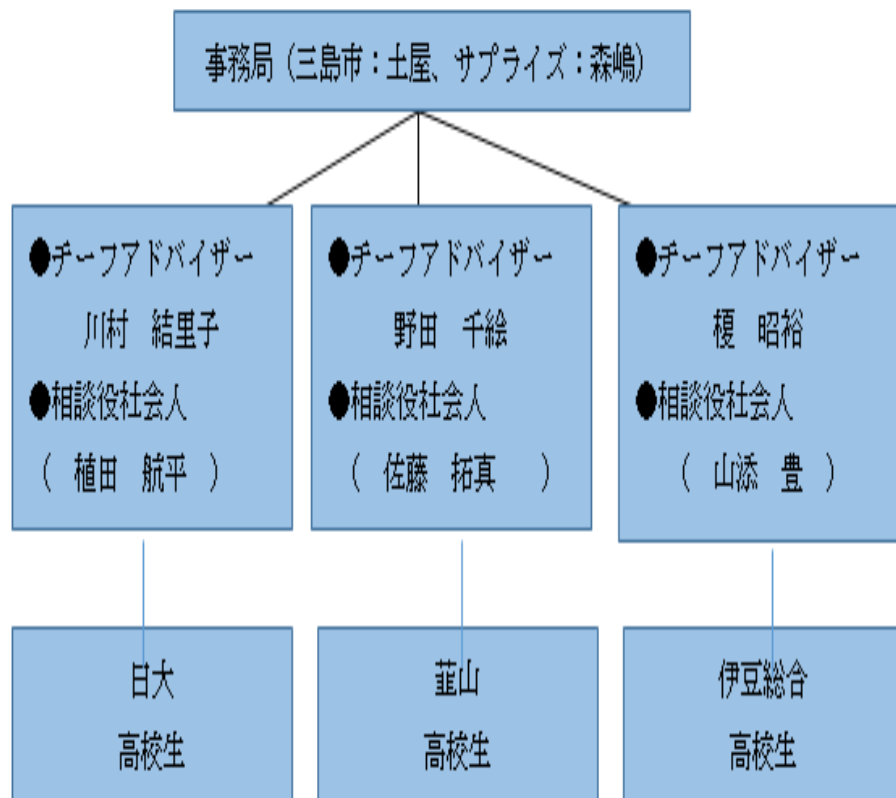
地域を調べ魅力の発見。取材することで深く知り、郷土愛を醸成する。原稿から紙面のデザイン案までを高校生が作成。プロが仕上げる。

5) デザイン会議 11月

6) 完成報告 & 発表会 2月

①大人と交わる組織をつくる

組織図



各校に社会人が2名

●公募と推薦で決定

役割: 高校生とプロジェクトを進める。
取材にも同行、編集の相談に応じる。

●チーフアドバイザー

ネットニュースの記者やブランディングコンサルタントなど

●相談役社会人

若手社会人(近い将来の自分)を起用

②地域の魅力発見ワークショップの開催

地域のことを高校生が知らないため、地域の魅力を発見すること、また地域で活躍する人の存在と彼らが学生時代にどう考え、今どう仕事をしているかに触れてもらう機会として。

時限	授業名
HR	挨拶
1時限目	静岡大学の紹介
2時限目	事業説明と沿線地域の課題と意義について
3時限目	地域の魅力について
お昼	伊豆箱根鉄道食堂
5時限目	取材方法のレクチャー
6時限目	写真／取材のポイント
LHR	取材先を考えよう！



③取材から編集

社会人と魅力のある取材先を検討
社会人も同行して、取材。
取材のポイントなども教わりながら、
地域の魅力を一つ一つ発見していく。



④デザイン会議の開催

高校生が作成した原案をプロのデザイナーが作成者の意向をもとに作成。
他校がデザインと記事の内容から、意図が伝わるかを確認。
また、どのようにしたら多くの人に冊子を通じて魅力が伝わるかを考えた。



地域魅力、冊子で発信
日三島高 デザインや文章 意見交換
伊豆総合高

「高校生地域活性化プロジェクト」の第2回会議が25日、三島市役所で開かれた。日大三島高と伊豆総合高の生徒10人が参加し、事前に作成した原案を元にデザインや文章表現などについて意見交換した。表紙やタイトルなども決めるという。同日、三島市役所で開かれた。

同プロジェクトは伊豆相模鉄道、駿豆線沿線の三島市、伊豆の国市、伊豆市でつくる「駿豆線沿線地域活性化協議会」が地域の人材育成などを目的に実施。8月に第1回ワークショップを行い、10月までに各自で取材を重ねてきた。

日大三島高2年の上杉蘭華さん(17)は「身近な場所が多くの人に知ってもらえるのうれしい。就んでもらえるような誇りを持って頑張りたい」と話した。

フリーペーパーは来年2月以降、千部発行し、鉄道駅や市都庁などで配布する予定。

三島支局・仲俣駿介

フリーペーパーについて意見交換する高校生ら
＝三島市役所

⑤完成報告 & 配布会

●完成報告会

- ・冊子が完成(16ページ、1万部)
- ・高校生の感想を社会人に伝える

●配布会

- ・首都圏からの観光客が多い特急「踊り子号」に乗り込み、車内で配布



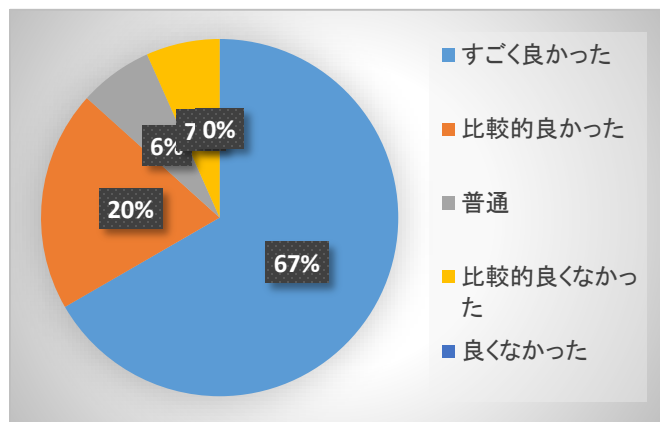
次の展開
地域活性化サークル
立ち上げ



日本大学三島高校新聞部から、高校生中心の地域活性化サークル「#(ハッシュタグ)」の設立と参加の呼びかけ。

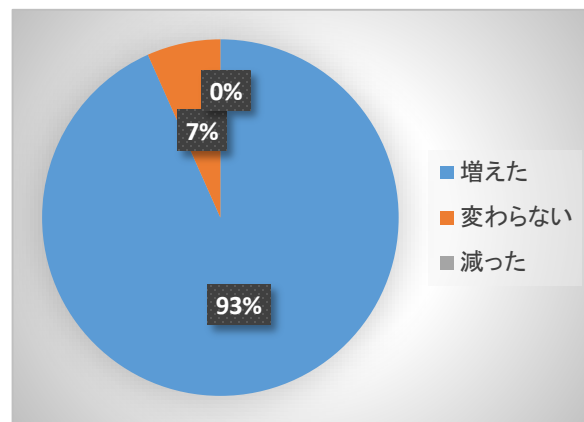
事業を通じた高校生の感想等

プロジェクトの感想



- ・やりごたえがあって面白かった
- ・知らなかった地域の魅力を知れた
- ・都会にはない地域の力を感じた
- ・身近だが知らなかった地元の魅力を知れたなど

地域への愛着は増えたか



- ・食べ物のおいしい店、景色のきれいな場所を知れて地元がもっと好きになった。
- ・地域の方たちの地域への愛、人の想いが良く伝わった
- ・身近な地域でこんなに頑張っている人がいたことを知ることができ、私も地域の魅力をもっと知りたいと思えた。

など

●当プロジェクトについてのお問い合わせ
駿豆線沿線地域活性化協議会(事務局 三島市政策企画課)
☎055-983-2698 メール seisaku@city.mishima.shizuoka.jp